

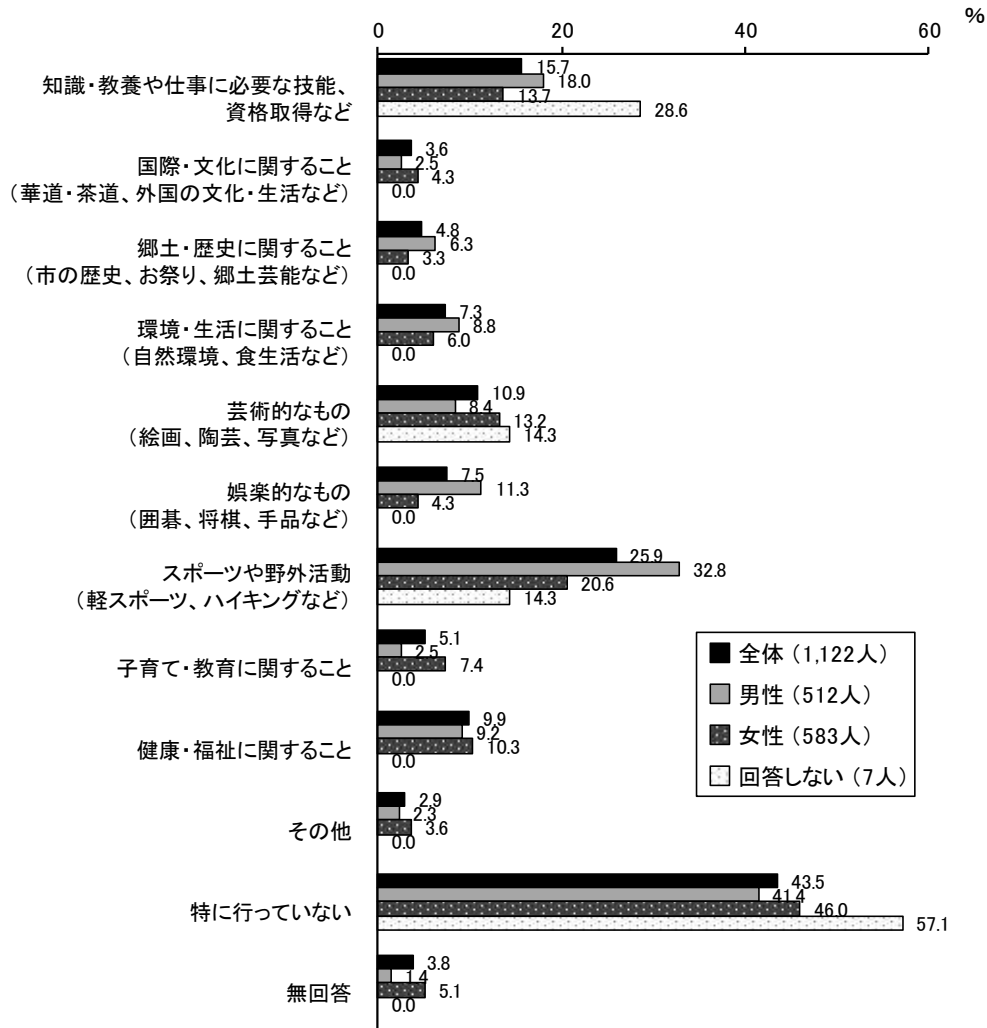
9 生涯学習・生涯スポーツについて

9-1 学習や趣味などの活動状況

- ◆「スポーツや野外活動（軽スポーツ、ハイキングなど）」25.9%、
 「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」15.7%◆

問 24. あなたは現在、学習や趣味などの活動を行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

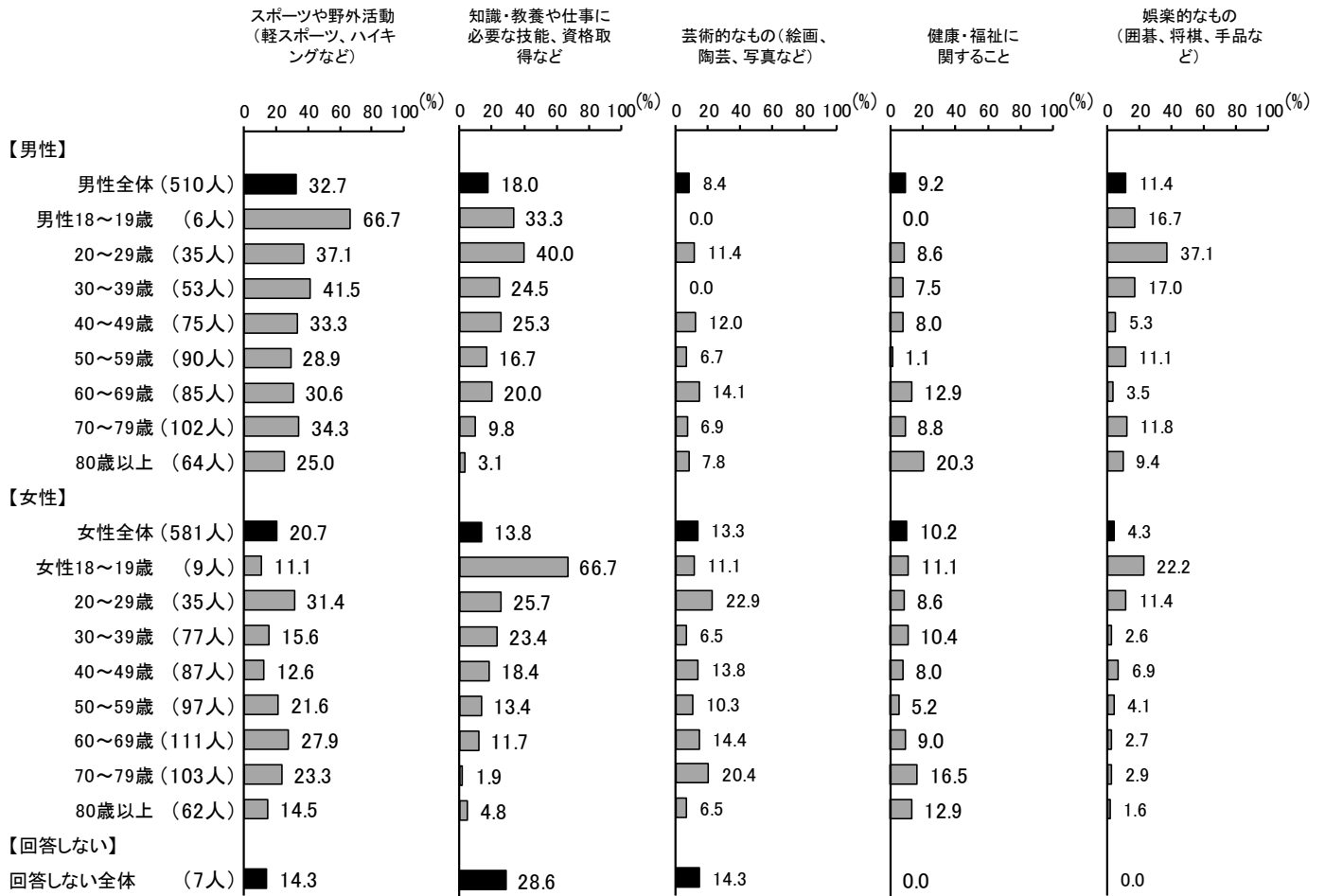
学習や趣味などの活動状況（全体・性別）



全体では「スポーツや野外活動（軽スポーツ、ハイキングなど）」の割合が25.9%、「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」の割合が15.7%となっています。

性別でみると「スポーツや野外活動」で男性（32.8%）が女性（20.6%）を12.2ポイント上回っています。また、「娯楽的なもの（囲碁、将棋、手品など）」で男性（11.3%）が女性（4.3%）を7.0ポイント上回っています。

学習や趣味などの活動状況（上位5項目 性・年代別）



性・年代別で見ると「スポーツや野外活動」は男性の18~19歳で66.7%と最も高くなっています。女性では20~29歳で31.4%となっています。

「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」は男性の20~29歳で40.0%と高くなっています。女性の18~19歳で66.7%と最も高くなっています。

「芸術的なもの」は女性の20~29歳で22.9%と最も高くなっています。

「健康・福祉に関すること」は男性の80歳以上で20.3%、次いで女性の70~79歳で16.5%となっています。

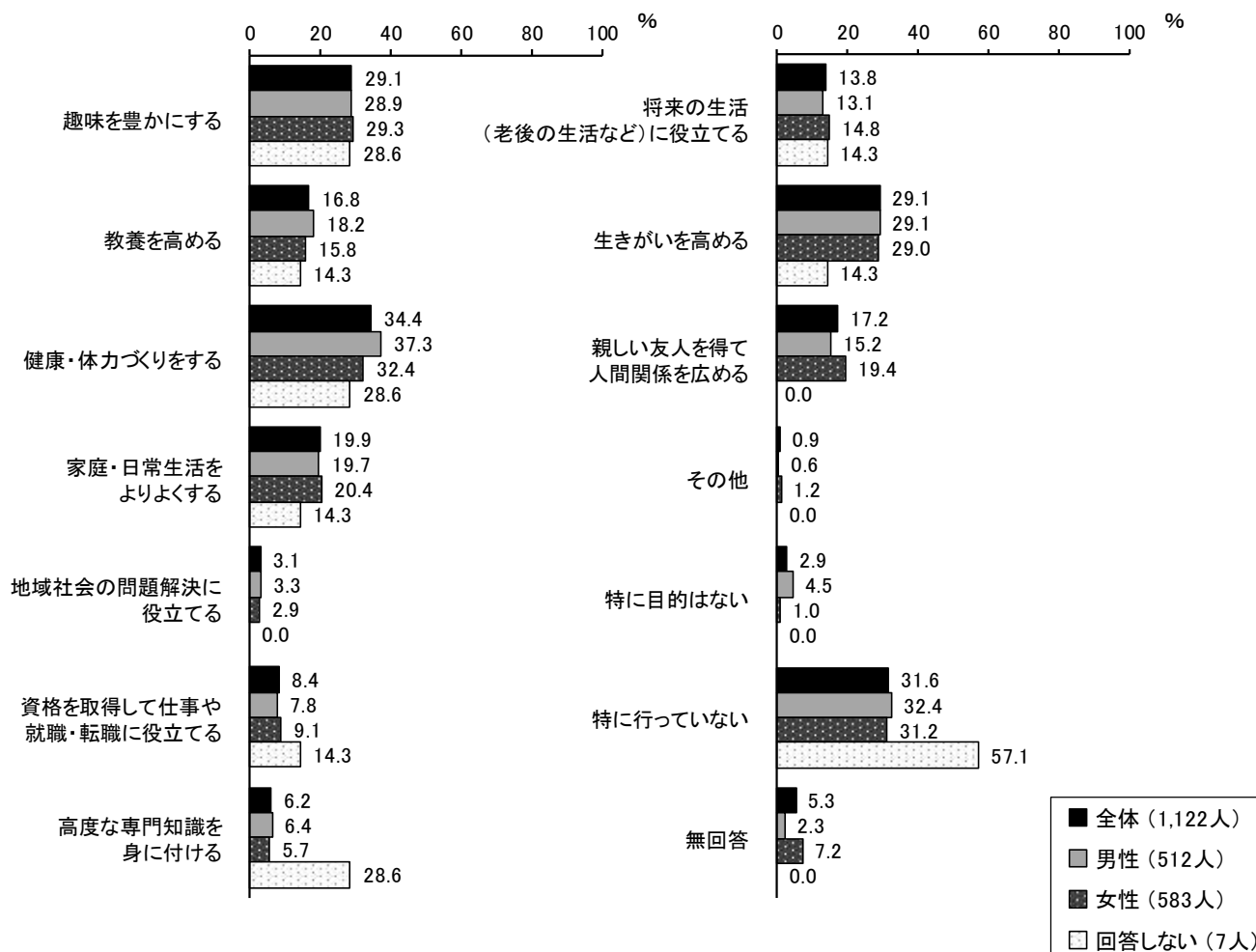
「娯楽的なもの」は男性の20~29歳で37.1%と最も高くなっています。

9-2 生涯学習等の活動を行っている目的

◆「健康・体力づくりをする」34.4%◆

問 25. あなたは、生涯学習としての趣味や習い事の活動について、どのような目的で行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

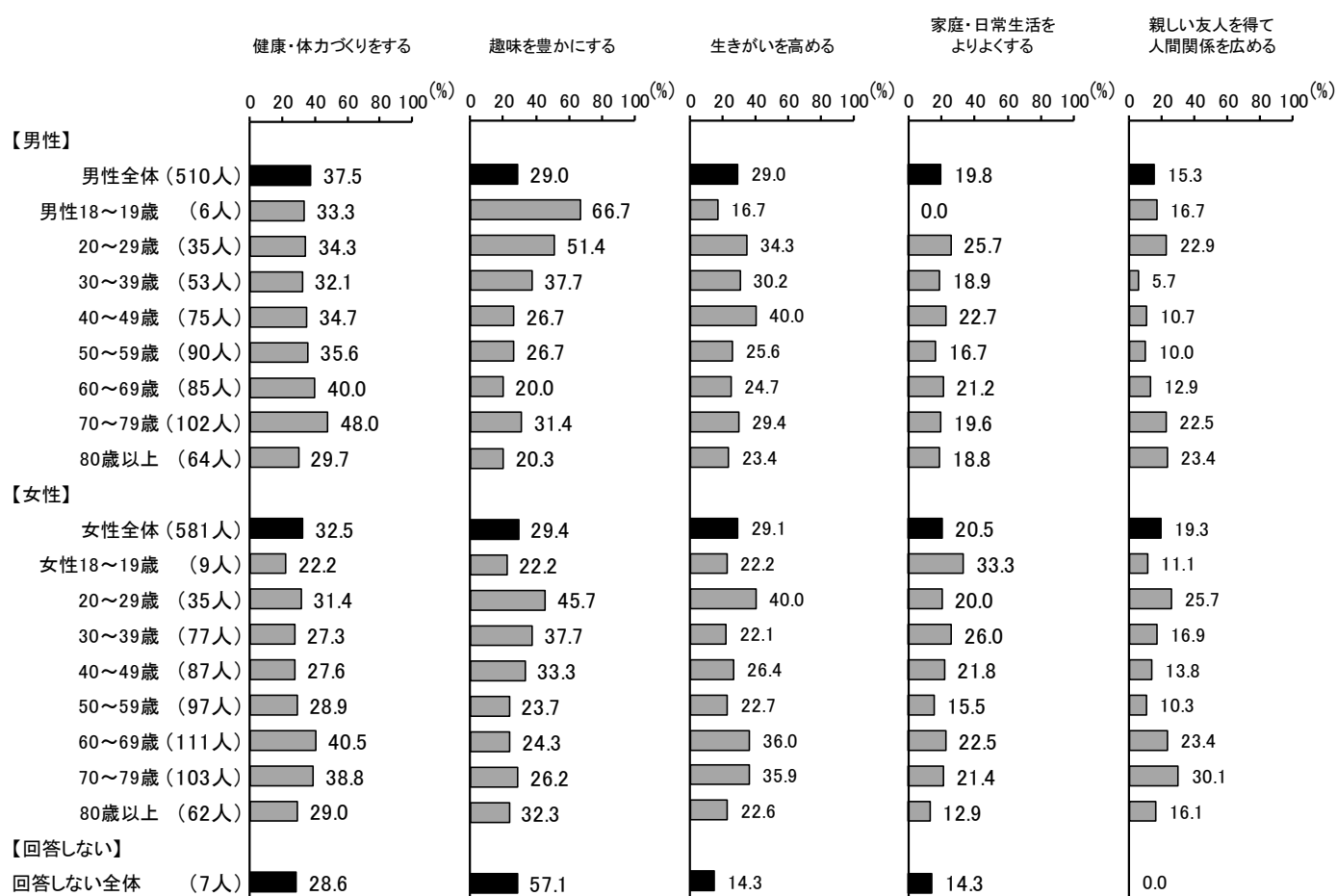
生涯学習等の活動を行っている目的（全体・性別）



全体では「健康・体力づくりをする」の割合が34.4%と最も高く、「趣味を豊かにする」、「生きがいを高める」の割合が29.1%となっています。

性別で見ると「健康・体力づくりをする」で男性(37.3%)が女性(32.4%)を4.9ポイント、「親しい友人を得て人間関係を広める」で女性(19.4%)が男性(15.2%)を4.2ポイント上回っています。

生涯学習等の活動を行っている目的（上位5項目 性・年代別）



性・年代別で見ると「健康・体力づくりをする」は男性の70~79歳で48.0%と最も高くなっています。

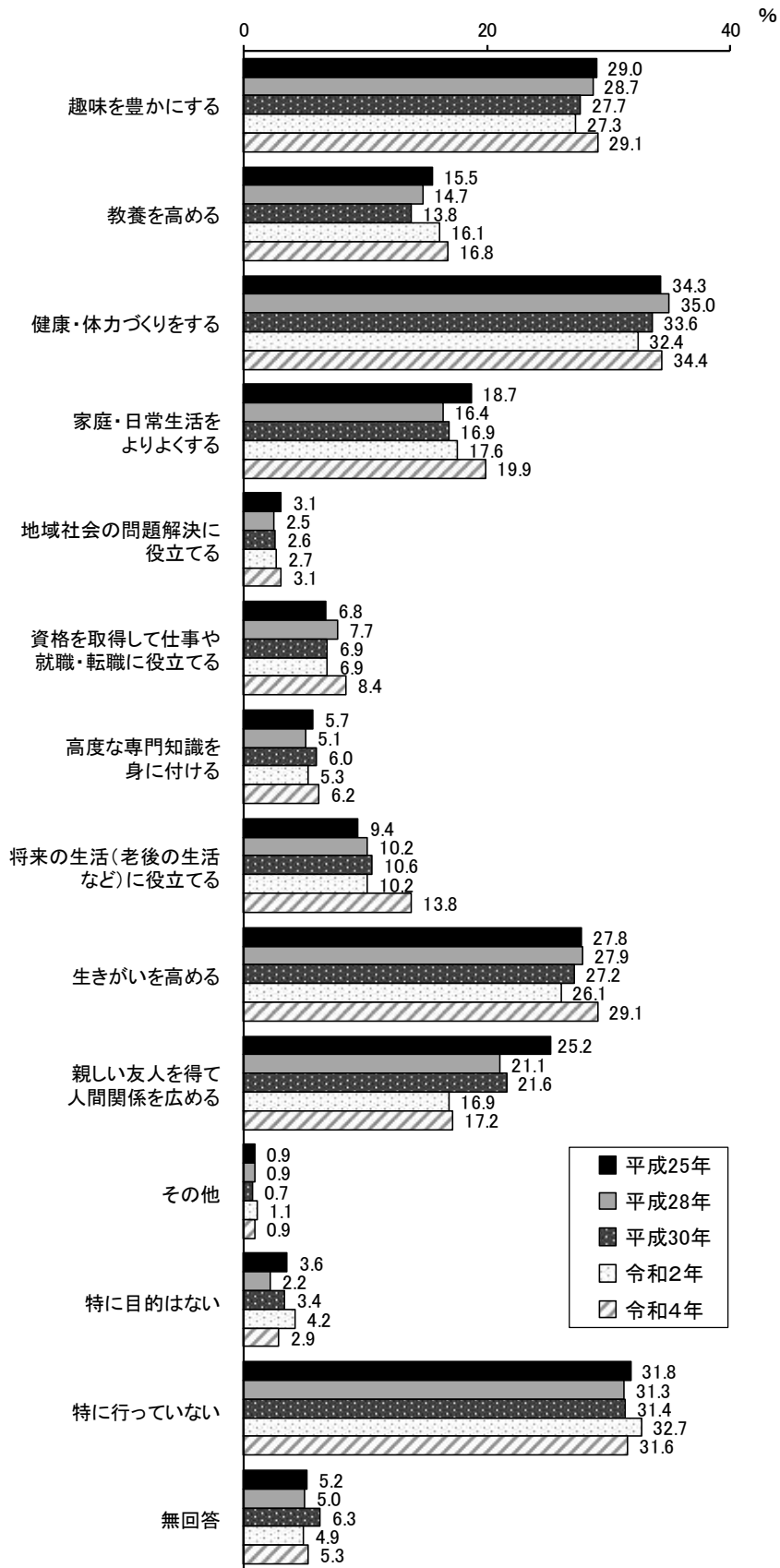
「趣味を豊かにする」は男性の18~19歳で66.7%と最も高くなっています。

「生きがいを高める」は男性の40~49歳、女性の20~29歳で40.0%と最も高くなっています。

「家庭・日常生活をよりよくする」は女性の18~19歳で33.3%と最も高くなっています。

「親しい友人を得て人間関係を広める」は女性の70~79歳で30.1%と最も高くなっており、次いで女性の20~29歳で25.7%となっています。

生涯学習等の活動を行っている目的（経年比較）



令和2年度調査と比較すると、「将来の生活（老後の生活など）に役立てる」は3.6ポイント、「生きがいを高める」は3.0ポイント増加しています。

9-3 運動（スポーツなど）を行う頻度

◆ “習慣的に運動を行っている” 55.8% ◆

問 26. あなたは、過去1年間に運動（スポーツ、ウォーキング、散歩、体操など）を平均してどのくらい行いましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

運動（スポーツなど）を行う頻度



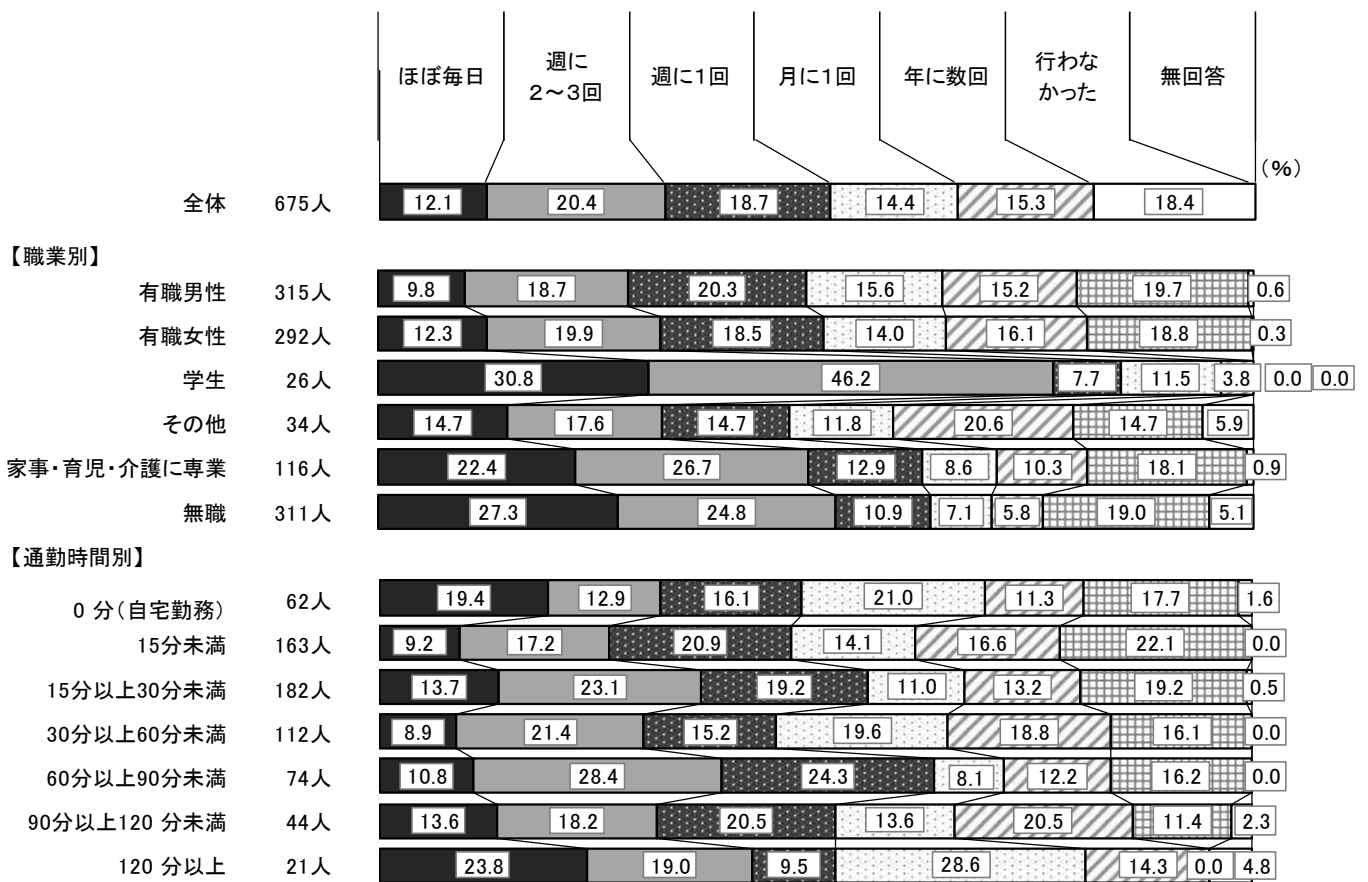
全体では「ほぼ毎日」「週に2~3回」「週に1回」をあわせた“習慣的に運動を行っている”の割合が55.8%、一方で「行わなかった」の割合は18.4%と低く、習慣的に体を動かしている市民が多いことがわかります。

性別でみると“習慣的に運動を行っている”は男性・女性ともに5割半ばとなっており、ほとんど差はありません。

年代別でみると“習慣的に運動を行っている”は18~19歳が80.0%と最も高く、次いで70~79歳が73.0%と高くなっています。また、50~59歳が43.9%と最も低くなっています。

平成25年度調査以降、“習慣的に運動を行っている”は増加傾向にありましたが、令和2年度調査と比較すると3.1ポイント減少しています。

運動（スポーツなど）を行う頻度



職業別でみると“習慣的に運動を行っている”は学生が 84.7%、無職が 63.0%と高くなっています。

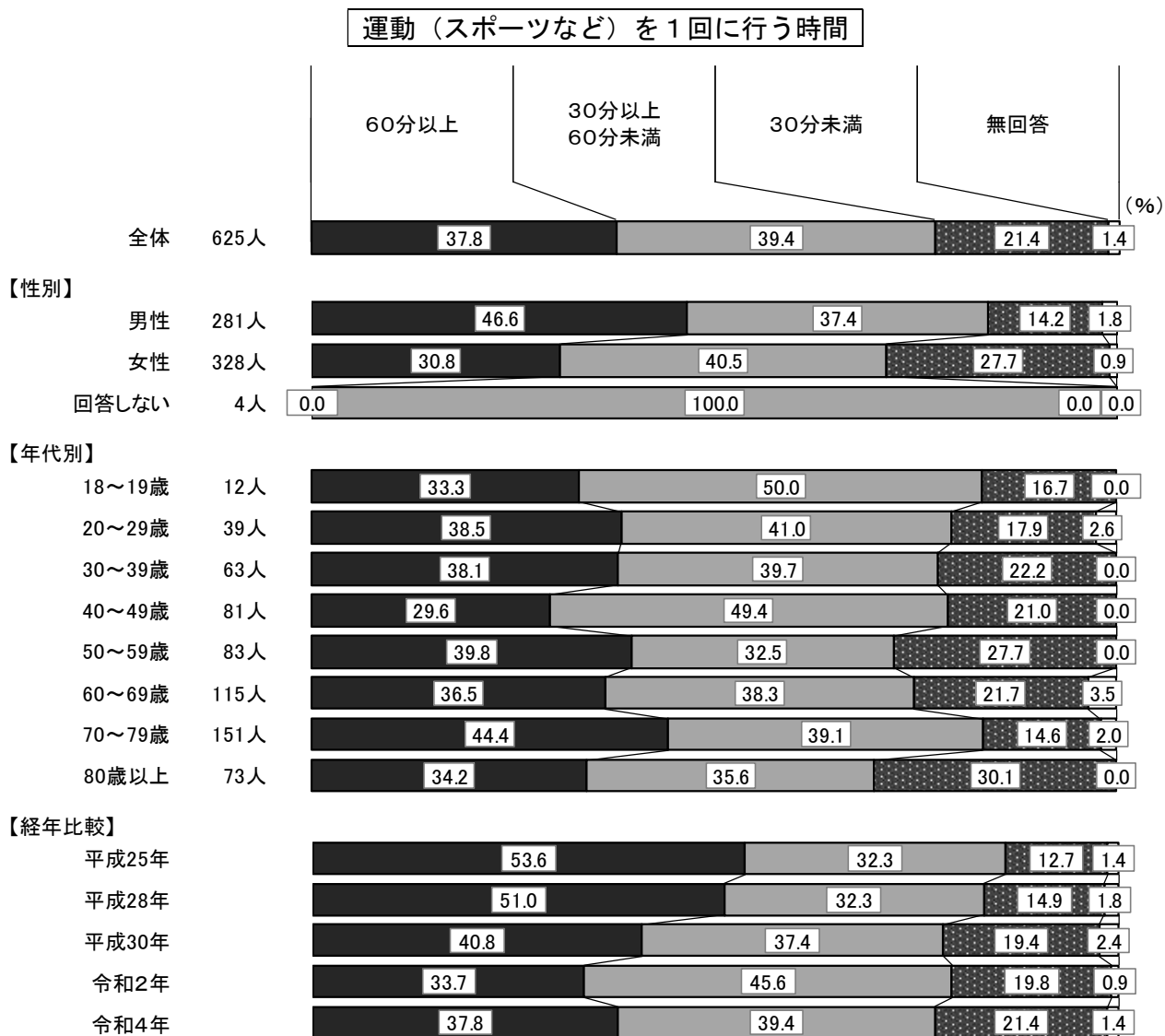
通勤時間別でみると“習慣的に運動を行っている”は 60分以上 90分未満が 63.5%と最も高く、通勤時間 90分以上 120分未満・120分以上の長距離通勤層も 52.3%と高くなっています。通勤時間 30分以上 60分未満が 45.5%と最も低くなっています。

9-4 運動（スポーツなど）を1回に行う時間

◆「60分以上」の割合が37.8%◆

（問26で「ほぼ毎日」、「週に2～3回」、「週に1回」とお答えの方におたずねします。）

問26-1. 1回にどのくらいの時間行いましたか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



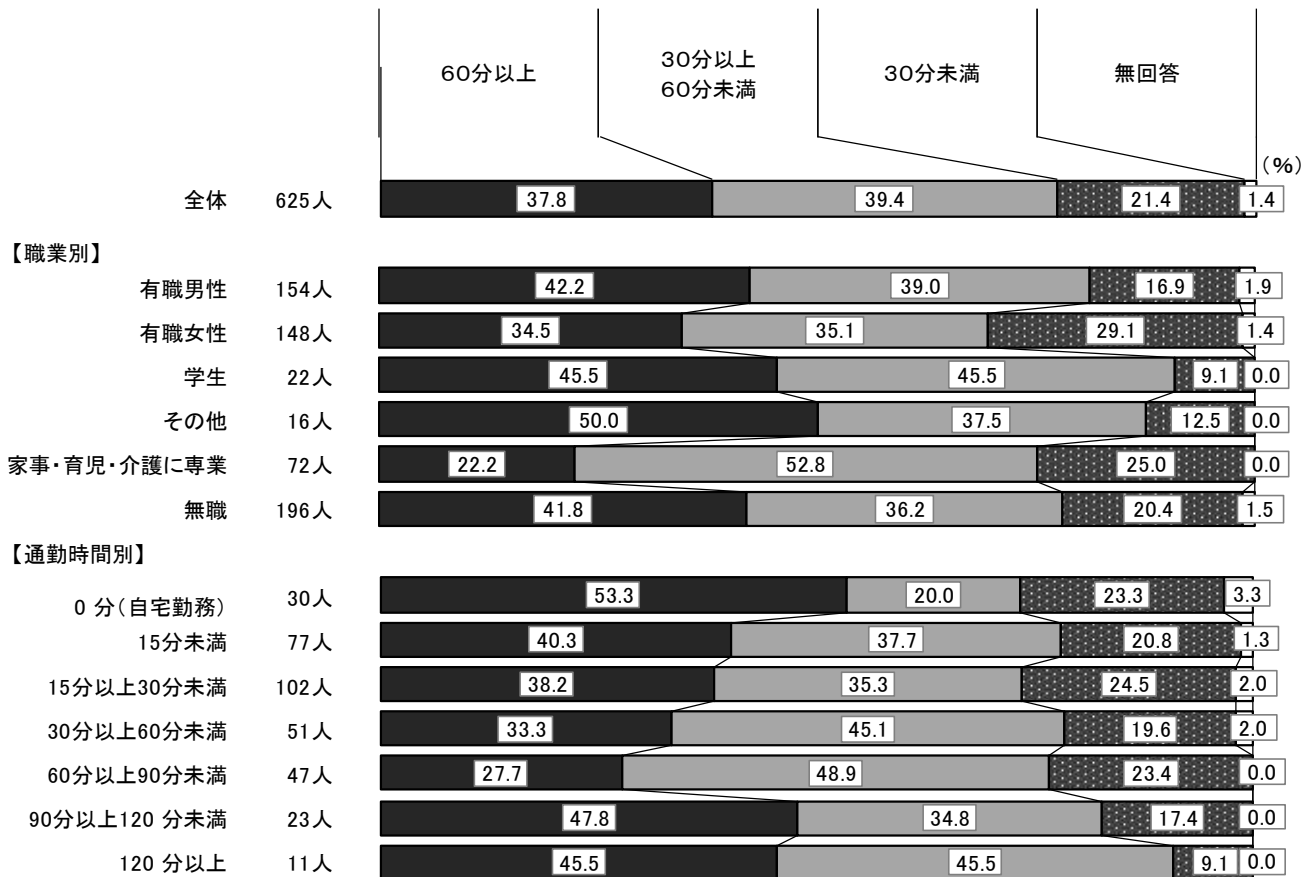
全体では「30分以上 60分未満」の割合が39.4%と最も高く、次いで「60分以上」の割合が37.8%、「30分未満」の割合が21.4%となっています。

性別で見ると、男性の「60分以上」が最も高く、男性（46.6%）が女性（30.8%）を15.8ポイント上回っています。

年代別で見ると「30分以上 60分未満」は18～19歳で50.0%と最も高く、50～59歳で32.5%と最も低くなっています。「30分未満」は50～59歳で27.7%、80歳以上で30.1%と高くなっています。

令和2年度調査と比較すると「30分以上 60分未満」は6.2ポイント減少しています。一方「60分以上」は4.1ポイント増加しています。

運動（スポーツなど）を1回に行う時間



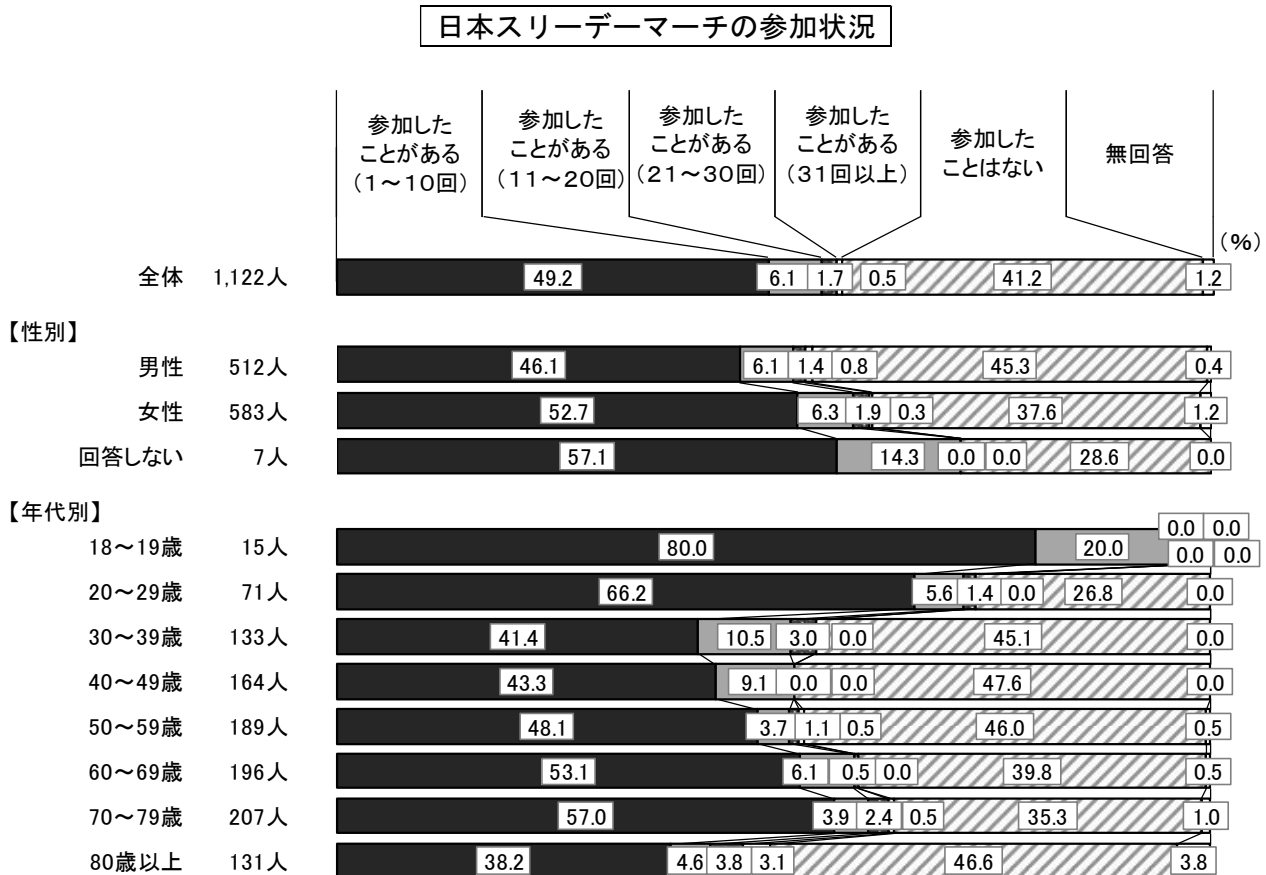
職業別で見ると「30分以上60分未満」は家事・育児・介護に専業で52.8%と最も高く、次いで学生が45.5%となっています。

通勤時間別で見ると「60分以上」は通勤時間0分（自宅勤務）で53.3%と最も高く、次いで90分以上120分未満が47.8%となっています。「30分以上60分未満」は通勤時間60分以上90分未満が48.9%、「30分未満」は通勤時間15分以上30分未満が24.5%とそれぞれ最も高くなっています。

9-5 日本スリーデーマーチの参加状況

◆「参加したことがある（1～10回）」49.2%、「参加したことはない」41.2%◆

問 27. あなたは、日本スリーデーマーチに参加したことがありますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。

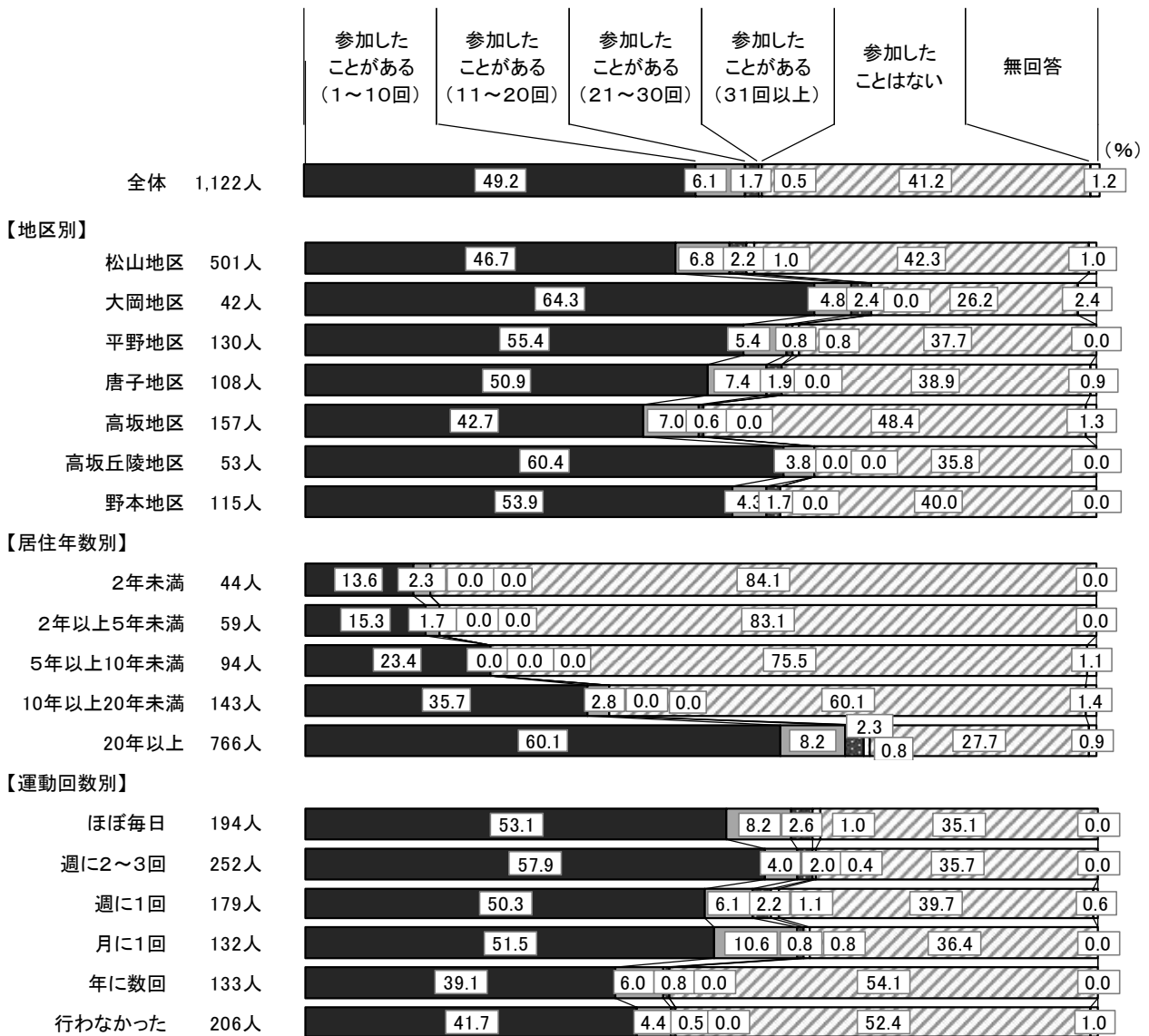


全体では「参加したことがある（1～10回）」の割合が49.2%と最も高く、次いで「参加したことはない」の割合が41.2%となっています。

性別で見ると、女性の「参加したことがある（1～10回）」が最も高く、女性（52.7%）が男性（46.1%）を6.6ポイント上回っています。

年代別で見ると「参加したことがある（1～10回）」は18～19歳で80.0%と最も高く、次いで20～29歳で66.2%となっています。一方「参加したことはない」は40～49歳代で47.6%と最も高くなっています。

日本スリーデーマーチの参加状況（地区・居住年数・運動回数別）



地区別では「参加したことがある（1～10回）」は大岡地区が64.3%と最も高く、平野地区、唐子地区、高坂丘陵地区、野本地区で5割以上となっています。一方「参加したことはない」は高坂地区が最も高く48.4%となっています。

居住年数で見ると、年数が長くなるほど“参加したことがある”が増加しています。「20年以上」では60.1%の市民に参加経験があることがわかります。

運動回数別で見ると「参加したことがある（1～10回）」は、週に2～3回が57.9%と最も高く、次いでほぼ毎日が53.1%、月に1回が51.5%となっています。一方「参加したことはない」は年に数回で最も高く54.1%となっています。

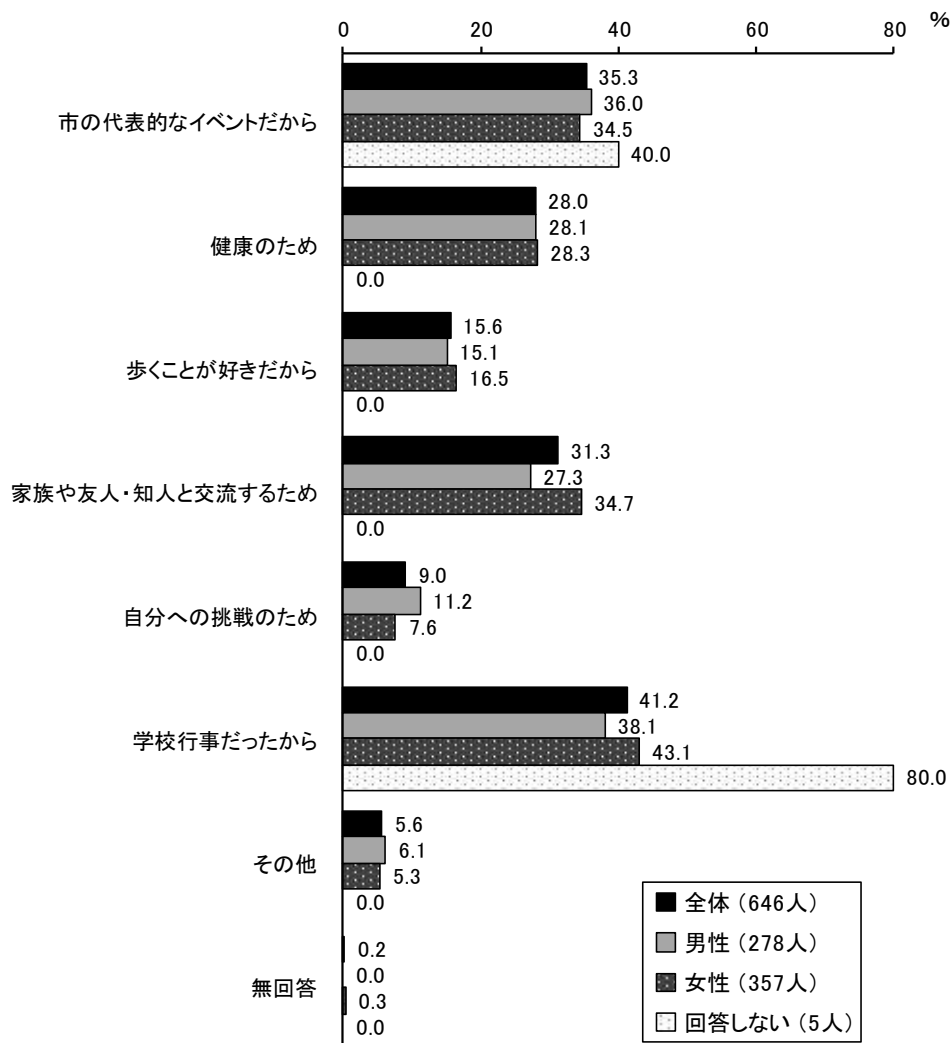
9-6 日本スリーデーマーチに参加した理由

◆「学校行事だったから」41.2%、「市の代表的なイベントだから」35.3%◆

(問27で参加したことがあるとお答えの方におたずねします。)

問27-1. 日本スリーデーマーチに参加した理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

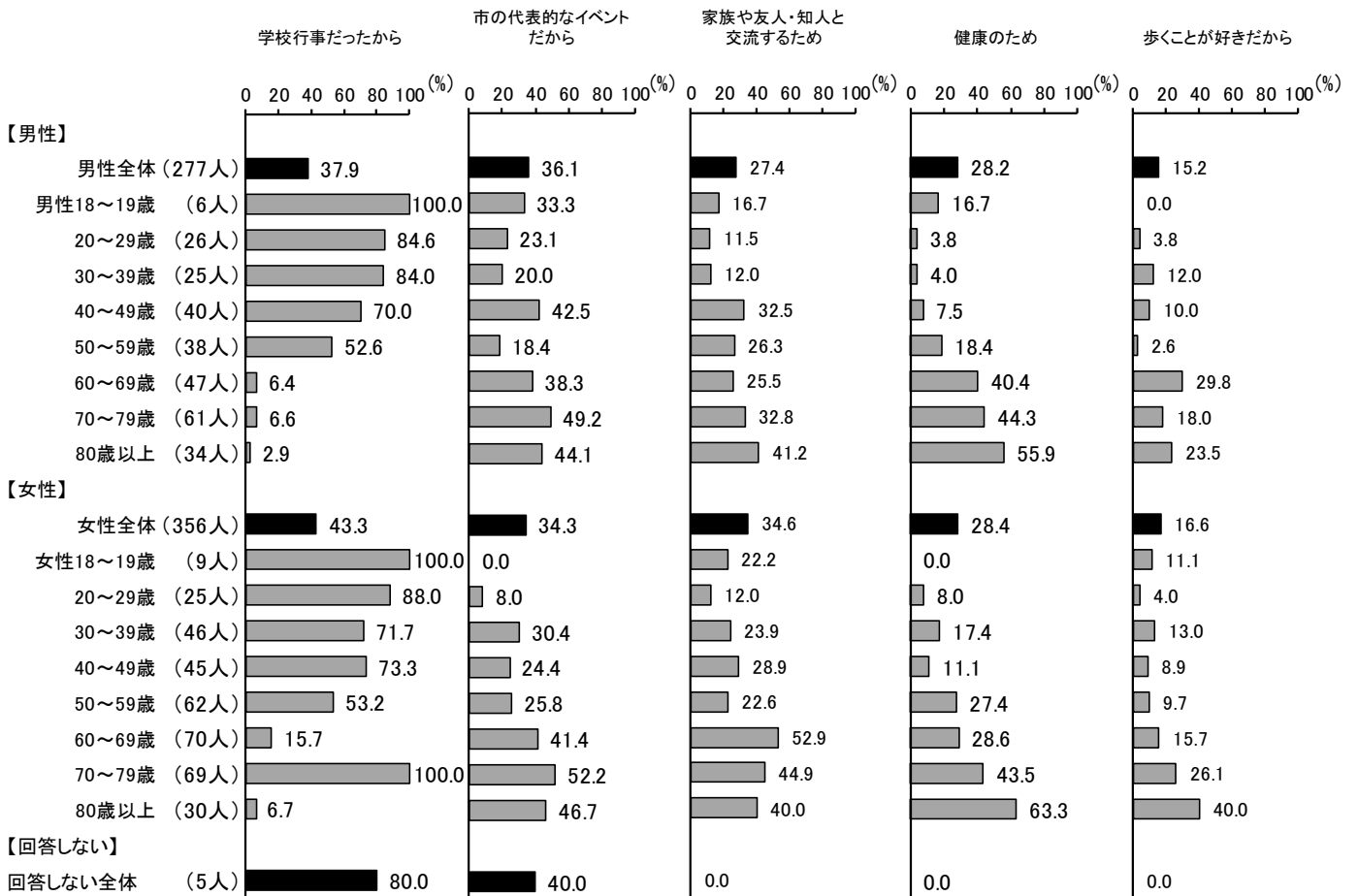
日本スリーデーマーチに参加した理由(全体・性別)



全体では「学校行事だったから」の割合が41.2%と最も高く、次いで「市の代表的なイベントだから」の割合が35.3%、「家族や友人・知人と交流するため」の割合が31.3%となっています。

性別でみると「家族や友人・知人と交流するため」は女性(34.7%)が男性(27.3%)を7.4ポイント上回っています。

日本スリーデーマーチに参加した理由（上位5項目 性・年代別）



性・年代別で見ると「学校行事だったから」は、男性・女性ともに18～19歳で100.0%と最も高くなっています。

「市の代表的なイベントだから」は、女性の70～79歳で52.2%と最も高くなっています。

「家族や友人・知人と交流するため」は、女性の60～69歳で52.9%と最も高くなっています。男性では80歳以上で41.2%と最も高くなっています。

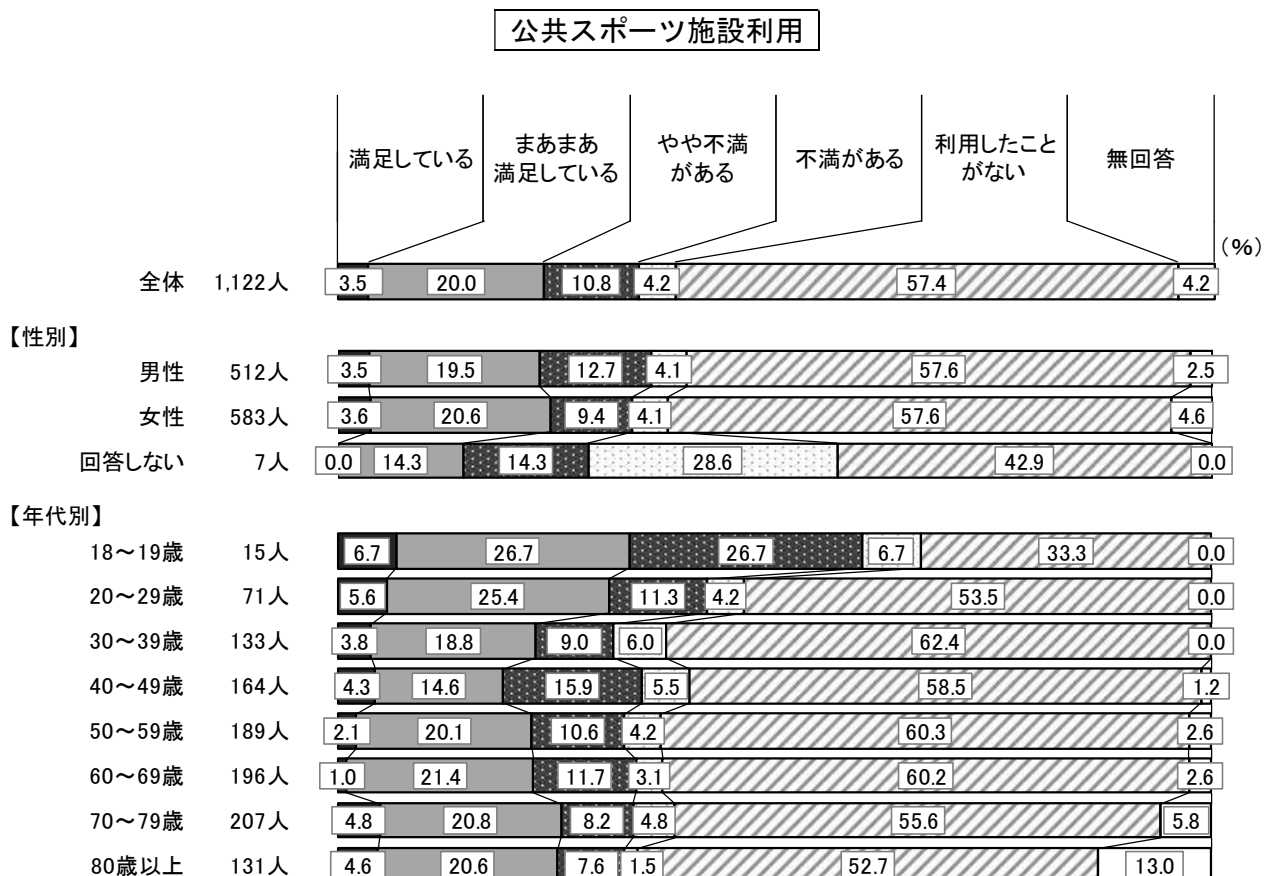
「健康のため」は、男性・女性ともに年代が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、男性の80歳以上で55.9%、女性の80歳以上で63.3%と最も高くなっています。

「歩くことが好きだから」は、女性の80歳以上で40.0%と最も高くなっています。

9-7 公共スポーツ施設利用

◆ “満足している”の割合が23.5%、“不満がある”の割合が15.0%◆

問 28. 公共スポーツ施設についておたずねします。公共スポーツ施設を利用してどのように感じていますか。1つ選び、番号を○で囲んでください。



※「公共スポーツ施設利用」は新設の設問です。

全体では「満足している」と「まあまあ満足している」をあわせた“満足している”の割合が23.5%、「やや不満がある」と「不満がある」をあわせた“不満がある”の割合が15.0%、「利用したことがない」の割合が57.4%となっています。

性別でみると大きな差異はみられませんでした。

年代別でみると“満足している”の割合が18～19歳、20～29歳で3割を超えています。一方、“不満がある”の割合が、18～19歳で3割を超えています。

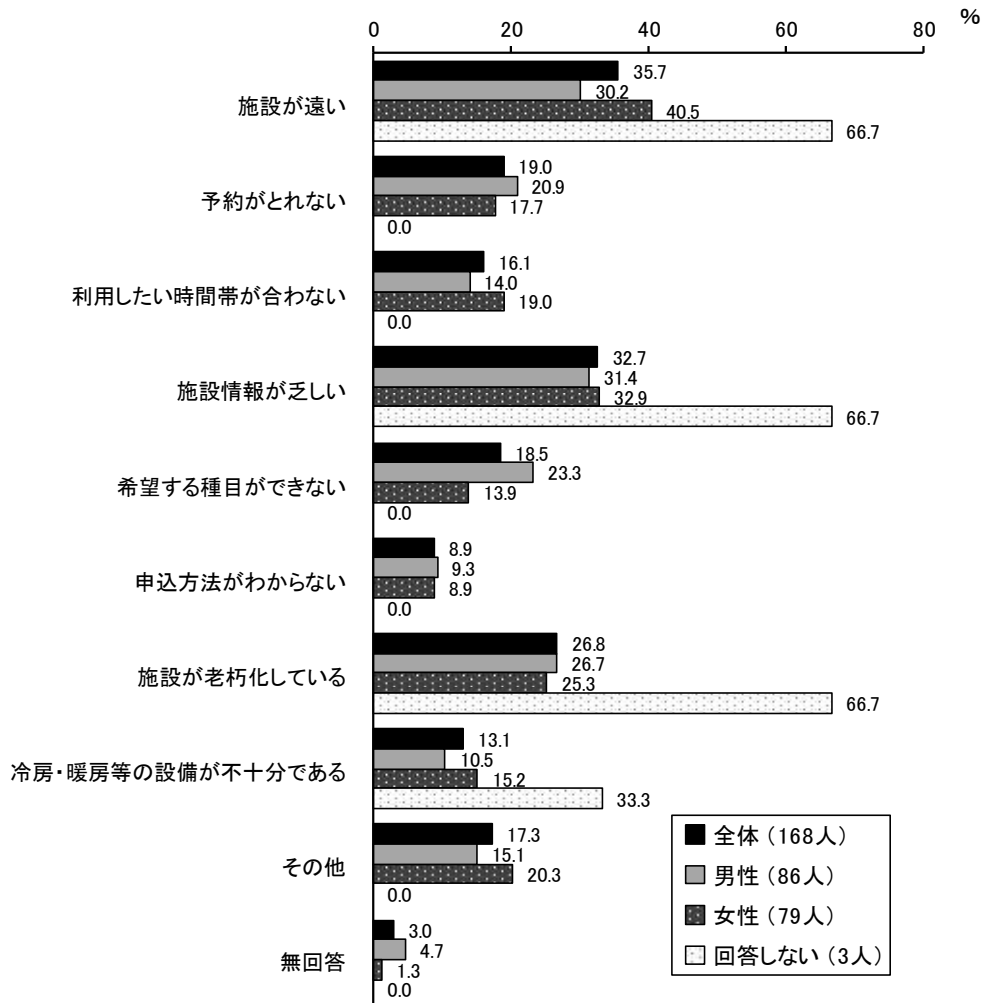
9-8 公共スポーツ施設について不満がある理由

◆「施設が遠い」35.7%、「施設情報が乏しい」32.7%◆

(問28で「やや不満がある」、「不満がある」とお答えの方におたずねします。)

問28-1. その理由は何ですか。3つまで選び、番号を○で囲んでください。

公共スポーツ施設利用について思うことの理由（全体・性別）



※「公共スポーツ施設利用について思うこと」は新設の設問です。

全体では「施設が遠い」の割合が35.7%と最も高く、次いで「施設情報が乏しい」の割合が32.7%、「施設が老朽化している」の割合が26.8%となっています。

性別で見ると「施設が遠い」は女性(40.5%)が男性(30.2%)を10.3ポイント上回っています。